

学びのススメ

読書に親しんでみては？



1・2年生は学年末テスト、3年生は受験が終わって、ホッとしているところだと思います。そんな中、今回は「読書のススメ」をしたいと思います。

先日、平田村の読書活動推進委員会が行われました。その中で、12月に実施した村の読書に関するアンケートの分析を行ったのですが、村内の中学生に関して以下のような傾向があることが分かってきました。

- ① 自分の好きな本、興味がある本は積極的に読むが、それ以外のジャンルには目が向いていない。
- ② 家庭に好きな本があるなど読書環境は整っているが、家庭での読書時間はそれほど確保されてはいない。

①については、読書版の「食わず嫌い」が起こっていると考えます。食事と一緒に、好きなものばかりを選んでいると栄養の摂取が偏ってしまいます。視野を広げる意味でも自分が普段読まないジャンルにも目を向けてみてはどうでしょうか。実際食べてみたら（読んでみたら）実はおいしかった（おもしろかった・楽しかった）…という経験ができるかもしれませんよ。

②については、メディア（テレビ、ゲーム、インターネット等）の影響が大きいと考えています。みなさんの身の回りにはたくさんのメディアが存在し、興味関心も多様化しています。だから、読書環境が整っていたとしても、テレビやゲームなどのメディアに向かってしまう傾向があるのではないのでしょうか。

読書には、「楽しむために読む」「調べるために読む」「知的欲求を満たすために読む」など様々な側面があります。また、読書の恩恵として、学力向上につながるという統計も出ています。

読書は言葉を学び、表現力や創造力を高め、知性や感性を豊かにし、みなさんが人生をより豊かに生きるために欠くことのできない「生きる力」をはぐくむために必要なものと言ってよいでしょう。

テストが一段落した今、是非家庭でも読書に親しむ時間を設けてみてはどうでしょうか。1時間、2時間は無理でも、1日10分、20分だったら時間がとれるのではないのでしょうか？

自分が好きな本、今まで読んでことのないジャンルの本などそれぞれの読書状況に合わせて選書すればよいと思います。

なお、中央公民館では、中高生向けの「YA図書」（ヤングアダルト図書）が充実しており、300冊を超える蔵書があるそうです。中央公民館に足を運んでみるのもよいのではないのでしょうか。



